

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校 1 年	国語	現代の国語	2	S S
教科書・副教材		東京書籍『精選現代の国語』 尚文出版『現代の国語の基礎学習』 桐原書店『新版完全征服 入試漢字コア 2800 改訂版』 京都書房『新訂 国語図説 五訂版（デジタル）』		

科目の目標			
両論文を中心とした文章の論旨を正確に把握すると共に、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるように配慮する。漢字や語彙力などの基礎力を身につけ、それを踏まえて文章の構造を論理的に理解できるようになることを目指す。また論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
評価の観点	知識・技能		主体的に学習に取り組む態度
	常用漢字を読み書きでき、文や文章の中で使うことができる。『新版完全征服 入試漢字コア 2800 改訂版』第 1 章～第 2 章を扱う。 実社会において必要な語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 自分の考えが的確に伝わるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、話・文章の構成や展開、表現を工夫する。	文章に興味を持ち自ら積極的に読解を進めると共に、文章を通して身につけた論理的な表現を自ら用いて表現し、我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
評価の方法	【成果物】〈 〉は略 パフォーマンス課題〈パ〉、 授業・家庭学習の成果〈成〉 リフレクション〈リ〉、 小テスト〈小〉 【ペーパーテスト】 定期考査〈考〉	【成果物】 〈パ〉、〈成〉、〈リ〉 【ペーパーテスト】 〈考〉	【成果物】 〈パ〉、〈成〉、〈リ〉

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学期	授業ガイダンス（教材・評価方法の確認）	1	授業・家庭学習の成果、予習リフレクション、定期考査
	「まだ知らない自分に出会う」（松村圭一郎）	3	
	「届く言葉」（内田樹）	3	
	「今ここにある無数の未知」（石川直樹）	3	
	「水の東西」（山崎正和）	4	
	言語活動①「わかりやすい説明をする」説明内容の整理や順序を考える。	2	
	言語活動②「小論文を書く」評論文の構成を踏まえて文章を作文する。	2	
2 学期	「言葉は世界を切り分ける」（今井むつみ）	4	授業・家庭学習の成果、予習リフレクション、定期考査
	「時間と自由の関係について」（内山節）	4	
	「真の自立とは」（鷲田清一）	4	
	「自立と市場」（松井彰彦）	4	
	言語活動①グラフの読み取りかたを学ぶ。	2	
	言語活動②本を紹介する。	2	
3 学期	「『無駄』と進化」（中屋敷均）	4	授業・家庭学習の成果、予習リフレクション、定期考査
	「白」（原研哉）	4	
	言語活動①情報を整理しながら話し合う。	4	